



平成25年度 赤穂小学校の教育活動

明るく 強く 仲よく

<学校教育目標>

命と人権を大切にし、確かな学力・健康な身体・豊かな心を身に付けた児童の育成

よく学び、仲よく遊ぶ ～ 夢を大きく 膨らませる子 ～

<校訓および求める児童像>

明るく-ものごとに明るく、よく考え、進んで学ぶ子-「輝く目」 強く-心と体を鍛え、ねばり強くやり通す子-「輝く汗」 仲よく-思いやりがあってやさしく、助け合う子-「輝く顔」

健康な身体

基礎・基本の確実な定着

- ☆ **分かる・楽しく学べる授業づくり**
- ☆ **指導方法の工夫改善**
- ★ 魅力ある授業づくりのため、職員研修や研究授業を行うなど、指導力の向上に努めていきます。(夢を語る会・自主研修・教職経験者研修)
- ★ 到達度の診断→個々の学力の実態把握→理解の状況に応じた学習、個に応じた学習
- ★ 学習理解の状況に応じた学習
算数における補充学習、発展学習の実施
- ★ かかわり合い、伝え合い、学び合う学習集団の育成(子ども中心の授業づくり)

☆新学習システム・学力向上の推進

- ★ 個に応じたきめ細かな指導
少人数授業 グループ学習
T T 兵庫型教科担任制

☆読書活動の推進

- ★ 朝読書の推進
毎朝15分、本と向き合う時間…
- ★ 図書室の充実
読書センター、情報センターとしての機能充実
- ★ 読書活動の推進
学校推薦図書の設定、読書目標冊数の設定

☆教育課程の編成の工夫 ☆学びの機会の充実

- ★ 15分間モジュールによる基礎・基本の徹底
計算・漢字・繰り返し学習

☆特別支援教育の推進

- ★ 教育的な支援を必要とする児童の理解と適切な対応や指導の在り方の研修を積極的に行い、実践化の充実を図ります。関係機関との連携・メンタルフレンド

自ら考え、調べ、学び、解決していく力の育成

☆総合的な学習の時間の充実

- ★ 体験的な学習や問題解決的な学習を取り入れるとともに、各教科で身につけた知識や技能を関連づけた学習を進め、自ら考え、自ら学ぶ力を養います。
- ★ 夢や希望をもち、自己の生き方について考えを深める教育を進めます。

☆地域・環境 ～地域のよさを語れる子ども～

- ★ 赤穂義士を語る
・赤穂義士に学ぶ
・赤穂忠臣蔵検定
- ★ 加屋川を語る
・体験的な学習
・加屋川清掃
- ★ 雄鷹台山を語る
・里山での体験学習(環境体験事業)
- ★ 身近な環境問題から
・リサイクル週間
・環境委員会

☆福祉

- ★ 自分にできることは何かを考え実践しようとする態度を育てていきます。
・キャップハンディ学習
・「つつじ荘」・「伯鳳会」訪問

☆国際理解教育

- ★ 歌、ゲーム、簡単な挨拶やごっこ遊びなどを通して英語に親しみながら国際理解を進めていきます。(5・6年外国語活動)
- ★ コミュニケーションを図る楽しさを味わう外国語活動を進めていきます。

☆学校茶道

- ★ 日本の伝統文化に触れ、自国の文化を大切に、誇りをもたせていきます。

☆情報教育

- ★ コンピュータに親しむとともに、情報収集や豊かな表現の技能を身につけます。

確かな学力

豊かな心

安全で安心な学校生活

☆子どもが安全で楽しく過ごせる環境

- ★ 心やすらぐ環境の中で、安全を確保しつつ、元気で楽しく学校生活を送れるように努めます。

☆安全・安心

- ・安全対策・危機管理体制の整備
- ・危機管理マニュアル



- ・安全点検、校内巡回
- ・PTAによる地域巡回、校外巡回
- ・職員による下校指導
- ・子どもを守る110番の家・店
- ・防犯教室
- ・グループでの登下校
- ・自転車運転免許講習
- ・連絡メールシステム

保護者・地域との連携

☆学校評議員制度

- ★ 保護者や地域の声を生かした学校経営
- ★ 地域に開かれた、地域から愛される学校づくり
- ★ 学校関係者評価(外部評価)

☆PTA・地域の方の教育活動への参画

- ★ 「親子美化活動」
- ★ PTAによる読み聞かせ
- ★ ゲストティーチャー・ボランティアティーチャーとして地域の方や保護者の方の授業参加
- ★ 広報活動、地域行事への参加活動
- ★ 地域で取り組む児童の安全確保
- ★ いきいき学校応援団
- ★ 「早寝・早起き・朝ごはん」運動の推進



芸術文化活動の充実

☆『ハーモニーの響きあう学校づくり』

- ★ コーラス部
- ★ 金管バンドクラブ
- ★ 歌声集会



☆人権教育の推進

- ★ 研究主題 「自他を尊重し、ともに生きようとする児童の育成」
- ★ 全教育活動の中で、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」ができるようになり、それが具体的な態度や行動として現れるような子ども達に育てていきます。自尊感情を高め、他者への理解を深めます。